

市民伝言板

このコーナーは市民の方から寄せられた情報を掲載しています。参加する時は、内容の確認を。

イベント

社東入間青年会議所 創立30周年記念事業 映画「ふるさとがえり」上映会
9月29日(土)10:00～12:30 / キラリふじみ / 800人 / 無料 / 東入間青年会議所HP事務局
☎049-261-2283 (13:00～16:00)

募集

混声合唱団けやき
月4回土曜19:30～21:30 / 鶴瀬公民館 / 高校生以上 / 月会費3,500円 (学生2,000円) / 初心者、見学歓迎 / 加藤 ☎049-253-4413

ティアレ ノアノア フラ&タヒチ
①月2回水曜12:30～14:00 ②月2回火曜10:00～11:30 ③月2回木曜13:30～15:00 / ①キラリふじみ ②ふじみ野交流センター ③針ヶ谷コミュニティセンター / フラダンス、タヒチアンダンスの練習 / 月会費2,000円 / 初心者・経験者歓迎 / 平塚 ☎080-5061-5464

ゴスペルサークル プライツサイド
月3回水曜11:00～13:00 / キラリふじみ / 入金1,000円 / 月会費3,500円 / 初心者歓迎 / 狩野 ☎080-6523-9702

コーロ・ラヴァンダ
第2・3・4水曜14:30～16:30 / 鶴瀬公民館 / 女声 / コーラス / 入金1,000円 / 月会費3,000円 / 長島 ☎049-252-4345

イージーストレッチング 眞向法体操愛好会
第2・4土曜10:00～12:00 / 針ヶ谷コミュニティセンター / 簡易ストレッチ体操(ヨガ系) / 1回500円 / 無料体験 / 星野 ☎049-253-1698

ボランティアサークル「友愛電話・こもれび」
定期的に高齢者宅へ電話し、安否確認や話相手をします(無料)。別居、同居を問わず高齢の親のことが心配な方、気軽にお問い合わせください。 / 富士見市ボランティアセンター(富士見市社会福祉協議会内)
☎049-254-0747



掲載方法の問合せ / 秘書広報課 ☎049-251-2711 ㊤240

※市内で活動している団体・サークルの催し物案内や会員募集を1年に1回掲載することができます(4月号～翌年3月号)。掲載は受付順です。申込書は秘書広報課にあります。原則として掲載月の前々月の25日(25日が土・日曜、祝日の場合はその前日)までにお申し込みください。なお、紙面に限りがありますので希望月に掲載できないことがあります。詳しくはお問い合わせください。

くすの リユース

…7月3日現在…
問合せ / 環境課 ☎049-251-2711 ㊤246

ご利用ガイド

このコーナーは、不用になった品物のリユースを希望する方の橋渡しをする場です(無料のみ)。ゆずります・ゆずってくださいとも市内在住の方が対象です。登録は3か月です。交渉結果はご連絡ください。

ゆずります

金庫 / スウィングチェア / ソファ / CD ケース(スチール製) / エアコン / 女性用スキーセット(靴23cm) / ダイビング用酸素ボンベ / 自転車の幼児用いす(後ろ用) / ジュニアシート

ゆずってください

テレビ / 洗濯機(4kg以上) / 掃除機 / キーボード(音楽用) / 前子ども乗せ自転車 / 洋裁用ソーイングボディ(婦人) / きたはら幼稚園制服・体操着(女児用120cm以上) / 富士見みずほ幼稚園制服・体操着ほか(女児用120cm以上) / 銀の鈴幼稚園制服・体操着・カバン(男児用120cm以上) / つるせ台小冬用体操着(130～150cm) / 台中夏・冬用制服(女子用150cm以上・男子用160cm以上) / 子ども服(男児用80～90cm) / チャイルドシート / ヘビーベッド

「高齢者(自分も高齢者ですが(笑))のお達者訪問では、個別にお宅を訪問したり、高齢者の方の集まりなどに行つて、交通安全を

活動の内容は、月1回の定例会、高齢者のお達者訪問や交通安全運動期間中の街頭啓発活動などを行っています。

「高齢者(自分も高齢者ですが(笑))のお達者訪問では、個別にお宅を訪問したり、高齢者の方の集まりなどに行つて、交通安全を

富士見市から

交通安全母の会

飛田和志子さん

鶴瀬東在住

富士見市交通安全母の会会長



交通安全

地域が主役のまちづくり

地域サポーターの紹介

交通・管理課 ㊤433



高齢者のお達者訪問のようす

訴えるチラシを配布するなどの活動をしています。地域の方と知り合いになれることも活動のやりがいのひとつ」と言います。

「毎年行われている富士見ふるさと祭りではチャリティバザーを開き、売上金の全額を寄付しています。今年は、横断旗45本を、子どもたちが安全に登下校できるようにと贈らせていただきました。また、新1年生にランドセルカバーを毎年贈呈しています。」

「交通事故は、被害者やその家族ばかりでなく、加害者の人生をも狂わせてしまう、身近で起きえる最大の悲しみです。交通事故がなくなるように、これからも活動してまいります」と話されました。